

## 大久保地域の魅力向上に向けた取組について

本市の「SDGs 未来安心都市・明石」の実現を目指す取組の一環として、大久保地域においてもまちづくりの方向性を踏まえ、魅力向上に向けた取組を進めているところです。その取組のうち、「大久保北部市有地の利活用」と「JR 大久保駅前複合施設の整備」について、下記のとおり報告します。

### 1 大久保北部市有地の利活用について

大久保北部市有地は、過去に約 10 億円をかけて取得した 19 ヘクタールに及ぶ広大な土地であり、市民の貴重な財産として、将来にわたり有益な利活用をしていきたいと考えているところです。

利活用に向けては、区域内に民有地が点在していること、自然環境との調和や生態系への配慮が必要であること、埋蔵文化財の包蔵地であることなどの課題があるとともに、当区域全体のにぎわいや活性化の方策の検討も必要となることから、順次、調査検討を行っているところです。

今回、昨年度から 1 年をかけて実施していた自然環境調査の調査結果を取りまとめました。

#### (1) 自然環境調査結果について

- ア) 調査時期 2021 年(令和3年)11月～2022年(令和4年)10月
- イ) 調査範囲 利活用が見込まれる大久保北部市有地及び周辺民有地(約40ha)  
(別紙 自然環境調査結果概要中、黄線で囲まれた範囲)
- ウ) 調査結果 今回の調査では、動植物が広く確認され、特に水辺に重要種を含む多くの生物が生息・生育していることを確認しました。(詳細は別紙参照)

#### (2) 今後の取組

大久保北部市有地の利活用については、2023 年度(令和5年度)も引き続き調査検討を進めます。また、旧教育キャンプ場の一部に自然体験や環境学習のための施設整備(仮設トイレなどの設置)を行う予定です。

## 2 JR大久保駅前複合施設の整備について

JR大久保駅周辺の公共施設の現状や市民ニーズを踏まえ、JR大久保駅南ロータリーのエリアに図書館を併設した駅直結の複合施設整備に向けた取組を進めます。

### (1) JR大久保駅周辺の公共施設の現状

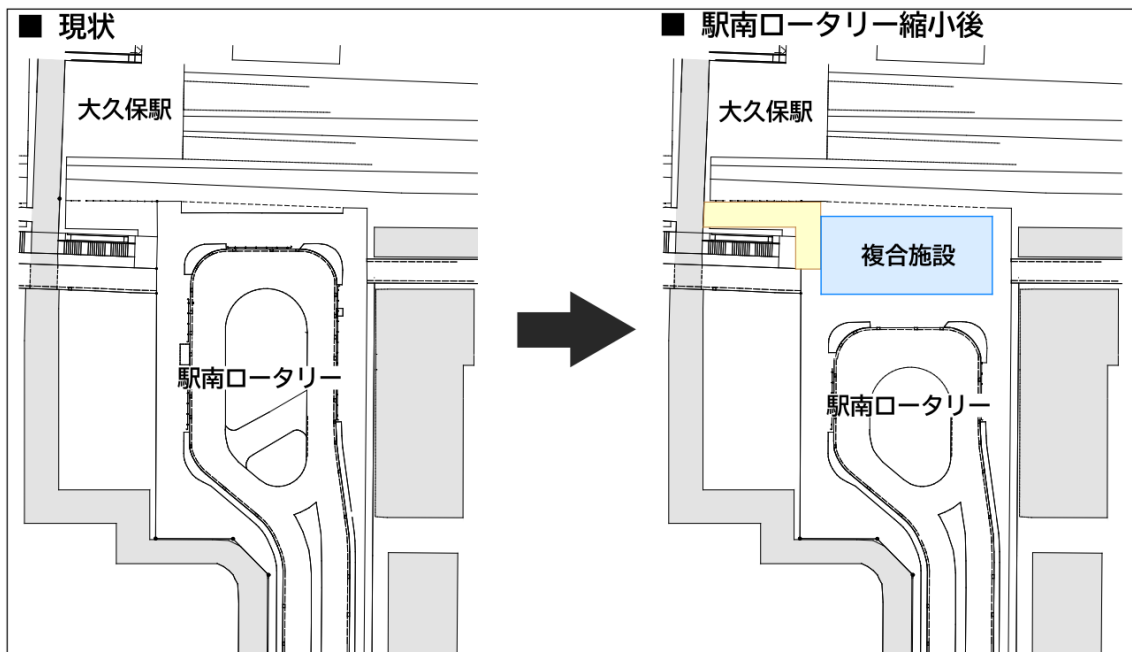
JR大久保駅周辺における公共施設の施設配置状況について他地区と比較すると、公共施設は、集会・文化施設が少なく、図書館がない状況であり、その他施設は概ね充実している状況です。

子育て支援施設については、「子育て支援センターおおくぼ」がありますが、施設の広さは十分ではなく、プレイルームの利用は3歳までとなっています。

### (2) 市民ニーズ

まちづくり市民意識調査(2019年6月～7月)や本のまちアンケート(「広報あかし」2019年7月15日号)での調査結果より、大久保地域に対する市民ニーズとして、図書館の設置やサービス拡充による「本のまち明石」の実現、地域福祉・健康づくり・コミュニティづくりの推進に対する期待度が高いと考えられます。

### (3) 設置場所



活用が見込まれる敷地面積 1,000 m<sup>2</sup>程度、建蔽率・容積率 (80%・400%) とすると最大、建築面積 800 m<sup>2</sup>、5階建て延床面積 4,000 m<sup>2</sup>程度の建物の建築が可能です。

(4) 主な導入機能イメージ

ア) 図書館機能

一般書・児童書エリアやユニバーサル・ルーム、閲覧・学習室など

イ) 市民活動支援・交流機能

会議室やフリースペース、活動支援窓口、カフェなど

ウ) 子育て支援機能

プレイルーム、幼児向け図書室など

(5) 想定スケジュール

2023年度（令和5年度）に整備計画を策定のうえ、基本設計に着手したいと考えています。基本設計以降のスケジュールについては、事業スキームなどとあわせて整備計画の中で検討して行く予定です。